

平成 26 年度

音楽学部個別学力検査

(専攻別実技試験等)

課 題 曲

(試験内容及び試験曲)

愛知県立芸術大学

試験内容及び試験曲

専攻実技

◆ 作曲専攻（作曲）

- (1) 4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか1題が課せられます。）……………所要時間：3時間

- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由（ピアノ使用可）……………所要時間：6時間

- (3) 上記の課題（1）、（2）に関する解説

◆ 作曲専攻（音楽学）

- (1) 音楽学に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。
……………所要時間：論述2時間及び口述試問所要時間

- (2) 外国語（英、独、仏から1科目）。解釈の能力を問う試験。……………所要時間：1時間

◆ 声楽専攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

- 課題曲 1 曲と自由曲 1 曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず2つ以上のグループから、合計4曲を選び、
曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。うち1曲を当日
指定します。

a. 『イタリア歌曲』グループ

1.	V. Bellini	Ma rendi pur contento	(Ges, As)
2.	M. A. Cesti	Intorno all'idol mio	(d, e, f)
3.	F. Durante	Vergin, tutto amor	(h, c, d)
4.	G. Giordani [T. Giordani]	Caro mio ben	(Des, Es, F)
5.	G. Paisiello	Nel cor più non mi sento	(Es, F, G)
6.	G. B. Pergolesi [A. Parisotti?]	Se tu m'ami	(es, f, g)
7.	A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	(G, As, B)
8.	A. Scarlatti	Le violette	(G, B, H)
9.	A. Scarlatti	Se tu della mia morte	(f, g)
10.	A. Scarlatti	Son tutta duolo	(g, a)

b. 『ドイツ歌曲』グループ

11.	L. v. Beethoven	Ich liebe dich	(F, G)
12.	J. Brahms	Dein blaues Auge	(D, Es)
13.	F. Schubert	An die Musik	(B, C, D)
14.	F. Schubert	Frühlingsglaube	(F, G, As)
15.	R. Schumann	Die Lotosblume	(Des, Es, F)

c. 『日本歌曲』グループ

16.	小松 耕輔	母	(F, G, As)
17.	中田 喜直	たんぽぽ	(E, Fis)
18.	成田 為三	浜辺の歌	(F, As) 第1節及び第2節
19.	信時 潔	北秋の（“沙羅”より）	(Des, D)
20.	山田 耕筰	かやの木山の	(C, D)

- 曲目に記入してある各調の楽譜は、本学に用意してあります。
大文字は長調、小文字は短調を示します。
- 『イタリア古典歌曲』については、基本的に全音版（畑中良輔編）を使用します。
上記の [] 内の作曲者名は、その第1巻新版（2012年11月刊）によるものです。
- 時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

自由曲：課題曲として提出した4曲以外のもの1曲を提出。(前掲の課題選択曲の中から提出する事も可)

所要時間3分以上の曲については曲の途中でカットします。

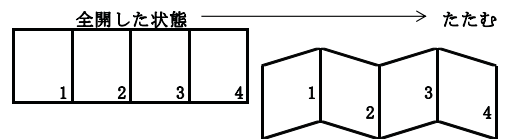
歌曲(一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む)の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

- F. Wüllner : Chorübungen I No. 37 a) ~No. 77 d) の中から1曲を試験の際に指定します。
大阪開成館発行『全訳コールユーブンゲン』(信時潔訳)を使用します。

提出楽譜についての注意：

- 1) 自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。
- 2) 課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず「入学願書」に添えて提出してください。
- 3) 提出楽譜は、1頁をすべてA4の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。(鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください。)
- 4) 提出楽譜には、1曲ごとに指定された大きさの表紙を付け、「提出楽譜表紙添付票」に必要事項(氏名、声種も忘れずに)を記入し、それぞれの表紙の左上隅に貼り付けてください。
- 5) 「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。

以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



◆ 器楽専攻（ピアノ）

第1次試験（2会場を実施します。①、②の演奏順は自由です。）

a) ① J. S. Bach：平均律クラヴィーア曲集

第I巻及び第II巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）を選択し、演奏してください。

② F. Chopin：練習曲

Op. 10 及び Op. 25 の計 24 曲より 1 曲を選択し、演奏してください。

b) ① 下記のピアノソナタから任意の1曲（全楽章）を準備し、第1次試験では最終楽章を演奏してください。

L. v. Beethoven：Op. 2 から Op. 81a （Op. 49-1、Op. 49-2、Op. 54、Op. 78 を除く）

F. Schubert：a-moll D537、Es-dur D568、A-dur D664、a-moll D784

* Beethoven：Op. 27-1 は Allegro vivace から、

Op. 53 は Rondo（Allegretto moderato）から、

Op. 57 は Allegro ma non troppo から演奏してください。

② F. Chopin：練習曲

Op. 10 及び Op. 25 の計 24 曲より上記 a) ② 以外の1曲を選択し、演奏してください。

第2次試験

第1次試験の b) ① で選択した作品の第1楽章から演奏してください。

○ 第1次試験、第2次試験ともに

- ・ 全曲暗譜で演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカット、または演奏箇所を指定する場合があります。
- ・ 繰り返しなしで演奏してください（ただし24小節以内の繰り返しは自由）。

○ 曲目提出用紙は入学願書の提出書類とともに提出してください。

◆ 器 楽 専 攻 (弦 楽 器)

器楽専攻 (弦楽器) 共通事項

- ・ 繰り返しなし、暗譜で演奏してください。
- ・ 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻 (弦楽器) 提出用紙について (入学願書の提出書類とともに提出してください。ハープを除く。)

- ・ ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの受験者は、提出用紙に、課題曲 **b)**、及び自由曲の作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- ・ ヴァイオリン受験者は、第2志望 (ヴィオラ) の有無にも○を付けてください。
- ・ コントラバス受験者は、楽器借用希望の有無に○を付けてください。

ヴァイオリン

(1) 課 題 曲

a) Carl Flesch : Scale System より

a-moll No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) 次の4つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集より任意の1曲を選択し演奏してください。

J. Dont : 24 Etüden und Capricen Op. 35

P. Rode : 24 Capricen

P. Gaviniès : 24 Etüden

N. Paganini : 24 Capricen Op. 1

(2) 自 由 曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

ただし、次の3曲についてはカデンツァの前までとします。

A. Glazunov : Konzert a-moll Op. 82

N. Paganini : Konzert D-dur Nr. 1 Op. 6

H. Vieuxtemps : Konzert a-moll Nr. 5 Op. 37

ヴィオラ

(1) 課 題 曲

a) Carl Flesch : Scale System より

任意の調性 No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) B. Campagnoli : 41 Caprices より任意の1曲

(2) 任意の自由曲

チェロ

(1) 課題曲

a) J. Loeb : Gammes et arpèges より

D-dur 4 オクターブの音階、4 オクターブの分散3度を、4つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペッジョを、3つずつのスラーで。

2 オクターブの3度重音、2 オクターブの6度重音を、スラー無しでレガートで。

b) J. L. Duport : The 21 Famous Exercises (Etudes) より任意の1曲

(2) 自由曲

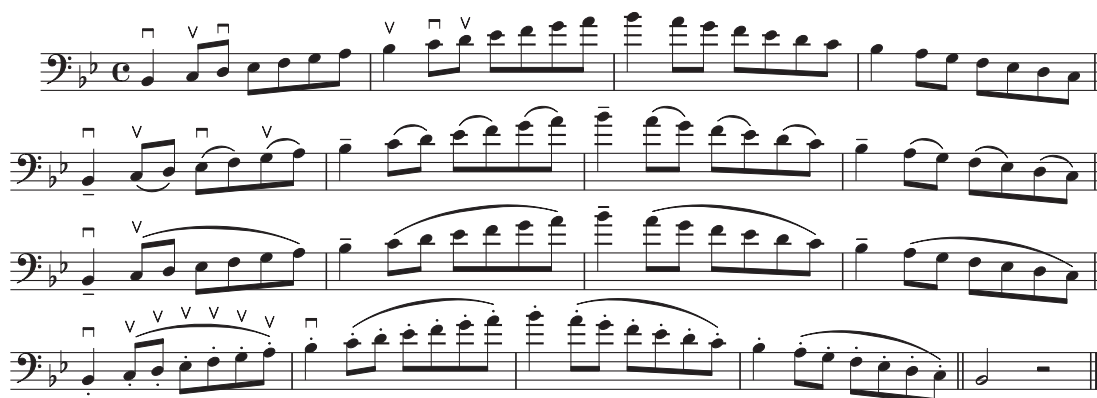
古典派以降のチェロ協奏曲(カデンツァを含む)もしくは古典派のチェロソナタより任意の楽章。

コントラバス

(1) (2) 共にオーケストラ・チューニングで演奏してください。

(1) 課題曲

a) 音階 B-dur 2 オクターブ 譜例参照



b) B. Marcello : 6 Sonatas Op.1 より任意の一つの楽章。

(2) 任意の自由曲

ハープ

ハープ受験者は、本学で用意した楽器で演奏します。楽器の持ち込みは不可です。

(1) 課題曲

a) N.-C. Bochsa : Célèbres Etudes pour la Harpe

Cinquante Etudes Op. 34 1^{er} Livre (Cahier)より No. 19 (版の指定はしません)

b) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives より No. 1 Prelude と Sonatina 全楽章

(2) 自由曲はなし

◆ 器 楽 専 攻 (管 打 楽 器)

器楽専攻（管打楽器）共通事項

伴奏者については、本学で用意します。

第 1 次 試 験

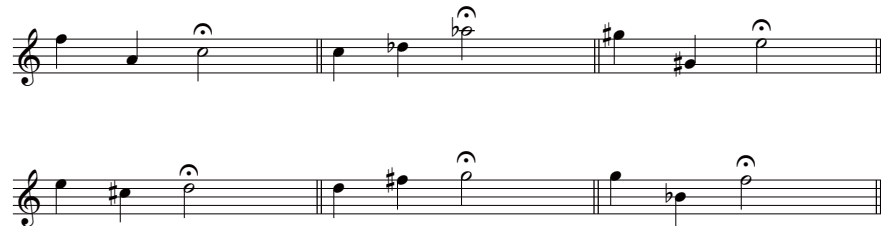
- (1) 課題曲
- (2) 指定された半音階 暗譜で、休止符のない限り一息で演奏してください。
ただし、打楽器は除きます。
- (3) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。
ただし、クラリネット、トランペット、打楽器は除きます。

第 2 次 試 験

- (1) 課題曲
- (2) ディクテーション（ピアノで与えられた単音を各自の楽器で奏します。）

問 題 例

Flute, Oboe, Clarinet, 打楽器（打楽器はマリンバを使用し、ロール奏法で行う）



- (3) 初見

問 題 例

Clarinet in B^b



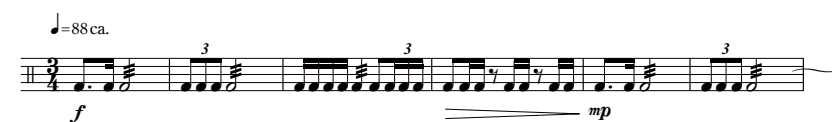
Bassoon



Horn in F Trumpet in B^b



Snare Drum



第1次・第2次課題曲

フルート

第1次

Ernesto Köhler : 35 Exercises for Flute Op. 33 Book 2

12 Medium Difficult Exercises より No. 1、2、3、5、6、7、8、11 の中から

当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

W. A. Mozart : Concerto in D major K. 314

第1 および第2 楽章より演奏箇所を当日指定します。

(共にカデンツァなし、版の指定はしません)

半音階

The image shows a musical score for a half-step exercise in 3/4 time. The tempo is marked as *ca. 72-80* and the dynamics as *mp*. The score consists of three staves of music. The first staff begins with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The music features a series of eighth notes with a slur over them, followed by a series of quarter notes with a slur. The second staff continues with eighth notes and quarter notes, including a dynamic marking of *v* (forte) and a key signature change to one flat (F). The third staff concludes with eighth notes, quarter notes, and a final half note with a fermata.

オーボエ

第1次

W. Ferling : 48 Etudes より

No. 13、14、15、16、17、18、19、20の中から当日指定します。

(版の指定はしません)

L. Wiedemann : 45 Studies for Oboe (45 Etüden für Oboe) より

12、13、16、28の中から当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

F. J. Haydn : Concerto より 第1楽章 (Breitkopf 版)

半音階

$\text{♩} = \text{ca. } 72 \sim 80$

mp

クラリネット

第1次

C. Rose : 32 Etudes より (版の指定はしません)

No. 13 から No. 26 までの中から当日指定します。

Rolf Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学教育出版部) 全部の音階中、No. 1 の中から当日指定します。ただし、楽譜を見ないで演奏してください。

速度 ♩=ca. 80

レガート及びスタッカートで演奏してください。

第2次

F. Krommer : Konzert für Klarinette und Orchester Es-dur Op. 36 より第1、第2楽章

(版の指定はしません)

半音階 (in B^b)

♩= ca. 72~80

mp

バスーン（ファゴット）

第1次

Julius Weissenborn : 50 Bassoon Studies Op. 8 Vol. II No. 1 から No. 14 の中より
当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

Antonio Vivaldi : Concerto in d minor Op. 45- 7 (F. VIII-5) より第2楽章 (♩=ca. 66) と
第3楽章 (♩=ca. 108) (版の指定はしません)

半音階

♩= ca. 72~80

mp

サクソフォーン

第1次

W. Ferling : 48 Études より No. 1、4、5、6、9、11、12、17、18、22、27、28、32、33
の中から当日指定します。(版の指定はしません)

第2次

A. Glazounov : Concerto en Mi \flat Op. 109 より 冒頭から練習番号 16 まで (Leduc 版)

半音階 (in E \flat)

$\text{♩} = \text{ca. } 72 \sim 80$

The musical score is written for saxophone in E-flat major (one flat) and 3/4 time. It consists of three staves. The first staff begins with a tempo marking of approximately 72 to 80 beats per minute. The music is a chromatic scale exercise, starting on E4 and moving up and then down through the scale. The first two staves contain the ascending and descending chromatic scale. The third staff contains the final notes of the descending scale, ending with a double bar line.

ホルン

第1次

C. Kopprasch : 60 Selected Studies for French Horn, Book I

No. 15 は必修。No. 14、17、18、28 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。Low F、B♭ のフルダブルホルンを使用してください。

第2次

W. A. Mozart : Horn Concerto No. 3 K. 447 (Breitkopf 版)

第1楽章 (カデンツァなし)

半音階 (in F)

♩ = ca. 72~80

※

※ 実音

(注) ディスカントホルン (ハイ F 管等) を使用しないでください。

トランペット

第1次

1. Arban : 14 Characteristic Etudes より No. 1、2、3、4 より当日指定します。(ISE Collection)
2. Corelli-Fitzgerad : Sonata VIII より第1楽章 (Belwin Mills 版)
3. Arban : Complete Grand Method 65~81 ページより当日指定します。
(ISM Collection 全音楽譜出版社)

第2次

- C. Saint-Saëns : Fantasie en mi bémol (Leduc 版)

半音階 (in B^b)

♩ = ca. 72~80

mp

トロンボーン

第1次

a) C. Kopprasch : 60 Selected Studies for Trombone (全音楽譜出版社) より
No. 13、14、16、20、23、24、27、31

b) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) より No.14、35、41

a)、b) より各1曲を当日指定します。

第2次

C. Saint-Saëns : Cavatina Op. 144 (版の指定はしません)

半音階

♩ = ca. 72~80

mp

バストロンボーン

第1次

a) C. Kopprasch : 60 Selected Studies for Trombone (全音楽譜出版社) より No. 8、12、14、26

b) A. Ostrander : Melodious Etudes for Bass Trombone (C. Fischer 版) より No. 3、18、22

a)、b) より各1曲を当日指定します。

第2次

E. Bozza : Allegro et Finale (A. Leduc 版)

半音階

♩ = ca. 72~80

The image shows a musical score for Bass Trombone, consisting of four staves. The first staff is in 3/4 time, marked *mp*, and begins with a tempo indication of approximately 72-80 beats per minute. It features a series of eighth notes with a slur, followed by a quarter rest. The second staff continues the eighth-note pattern with a slur. The third staff continues the eighth-note pattern with a slur. The fourth staff concludes with a quarter note, a half note, and a final double bar line.

ユーフォニアム

第1次

- a) C. Kopprasch : 60 etudes for Trombone(全音楽譜出版社)より No.10、15、19
J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) Book 1 より No.8、9、12
(使用する版は旧版でも新版でも可)
- b) C. Kopprasch : 60 etudes for Trombone(全音楽譜出版社)より No.11、20、24、27、36、50
- a)、b) より各1曲を当日指定します(繰り返しなしで演奏してください)。

第2次

- A. Capuzzi : Andante and Rondo (from Concerto for D.Bass)
(Hinrichsen 版 1474)
Rondo は Dの前まで演奏してください。

半音階

♩ = ca. 72~80

mp

チューバ

第1次

a) M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies No. 7、12、21、28

(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 2009)

b) C. Kopprasch : 60 Selected Studies for BBflat Tuba No. 15、18、34、41

(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 278)

a)、b) より各1曲を当日指定します。

第2次

J. S. Bach / William J. Bell 編曲 : Air and Bourre (C. Fischer 版 No. W1647)

半音階

♩ = ca. 72~80

The musical score is written in bass clef with a 3/4 time signature. It begins with a tempo marking of ca. 72-80. The first staff starts with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The piece features a series of half-step runs, with some sections marked with slurs and accents. The key signature has one flat (B-flat). The score concludes with a final cadence.

打楽器

- a) スネアドラムで受験する者：スネアドラムは各自持参したもので演奏してください。
- b) マリンバで受験する者：スネアドラムは本学でも用意しますが、各自持参したもので演奏しても構いません。
- a)、b) 共通：マリンバは本学の楽器を使用してください。

第1次

- a) スネアドラムで受験する者
 - ① 楽譜④をひびき線無しで演奏してください。手順が指定されている箇所は必ずそれに従ってください。
 - ② W. F. Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Drum 版) より
 - 1. Three Camps (16 ページ)
 - 2. Dixie (9 ページ)、Dinner Call (17 ページ)、Rambling Ratemacues (18 ページ) の中から当日指定
すべて繰り返しありで演奏してください。
- b) マリンバで受験する者
 - ① 音階 すべての長調、短調の中から当日指定します。
3 オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階 (楽譜③)
 - ② Jaque Delécluse :
VINGT Études D'APRÈS R. KREUTZER adaptée au Xylophone
(ALPHONSE LEDUC 版) より以下をマリンバで奏する。
9番 (スティッキングは自由)
17番 (テンポ 4分音符 $\dot{=}$ 126~132で奏すること)
 - ③ Clair Omar Musser : Etude in C Op. 6 No. 10 (Studio 4 Productions 版)

第2次

- a) スネアドラムで受験する者
 - ① Heinrich Knauer : Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版)より 25 番
(テンポ 4分音符 $\dot{=}$ 60~65で演奏すること)
Portraits In Rhythm (Alfred 版) より 38 番 (テンポ 付点4分音符 $\dot{=}$ 60で演奏すること)
 - ② マリンバで音階を演奏してください。
すべての長調、短調の中から当日指定します。
2 オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階 (楽譜③)
- b) マリンバで受験する者
 - ① 下記 A、B より1曲を選択して演奏してください。
A) 田中 利光 : マリンバのための二章より I、II (IIは14小節目まで)

(全音楽譜出版社)

B) Gordon Stout : Two Mexican Dances for Marimba 1、2 (Studio 4 Productions 版)

演奏楽章は当日指定します。

- ② 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち (スネアドラムを使用、ひびき線なし)
より当日指定します。

♩=120

①

L L R R L L R R L L R R R L L R R L L R R L L R R

mf

L L R R L L R R L L R R L L R R L R L R L R L R L R L R L R L R

L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R *molto*

L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R *ff*

L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R L L R R *mf* *p*

L R L R L R L R L R L R L R L R L L R R L L R R L L R R

♩=60

p *ff* *p* *pp* *ff* *ffff* *very long*

♩=120

②

♩=120

③

副科試験

ピアノ（器楽専攻ピアノコースを除く。）

C. Czerny（チェルニー）30 番練習曲集、40 番練習曲集、50 番練習曲集より任意の 1 曲を選択し、繰り返しなし、暗譜で演奏してください。

時間の都合により、演奏をカットする場合があります。

新曲視唱

歌詞をとまなわない初見視唱 1 題

聴音

◆ 作曲専攻（作曲コース）

- (1) 単旋律課題 1 題
- (2) 2 声の旋律課題 1 題（上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）
- (3) 4 声の和声課題 1 題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

◆ 作曲専攻（音楽学コース）、声楽専攻、器楽専攻

- (1) 単旋律課題 1 題
- (2) 4 声の和声課題 1 題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

楽典（作曲専攻作曲コースを除く。）

音楽大学での学習に必要な基礎知識一般（音程、和音判別及び所属調、調性判別、移調、楽語等）

……………所要時間：1 時間

平成 25 年度愛知県立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻（作曲）

I 和声課題

次のソプラノ課題を 4 声体で実施しなさい。

Moderato

p

mp *mf*

mp *poco a poco a crescendo*

f

mf

rit. *p* *pp*

Ⅱ 器楽曲作曲

次の2つのモチーフのうち、どちらかを用いて器楽曲を作曲せよ。
速度、強弱、形式および編成は自由。



作曲専攻（音楽学）

音楽に関する基礎的試験

問題1：年表（別紙1）を参考にして、1868年から1877年までの西洋と日本・アジアにおける音楽の状況を自由に論じてください。文字数の制限はありません。

問題2：課題文（別紙2）の論旨をまとめ、それに対するあなたの考えを述べてください。文字数の制限はありません。

別紙1及び2は、本学管理棟2階 学務課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後4時まで

ただし、土・日曜日、祝日等大学事務局が休業となる日は除きます。

[別紙1：皆川達夫、倉田喜弘監修『詳説総合音楽史年表』（教育芸術社、2004年）所収 50-51頁]

[別紙2：渡辺裕『歌う国民—唱歌、校歌、うたごえ』（中公新書、2010年）所収 i - vi 頁]

※問題用紙は解答用紙とともに、試験終了後に回収します。
 ※受験番号は解答用紙に記入してください。

【問題用紙】

譜例 (J.S. バッハ《マタイ受難曲》BWV.244 からアリア〈憐れみたまえ、わが神よ〉より導入部分) をみて、以下の各問いに答えよ。

1. 譜例について説明した以下の文章の下線部分に正しいと思われる言葉を下枠の選択肢より選び、番号で答えよ。ただし、同じ言葉を重複して使用してもよい。

J.S. バッハの《マタイ受難曲》は、現存するバッハによる二つの受難曲のうちの 1 曲で、演奏時間が三時間にも及ぶ大作である。このアリアは最初に ア イ 調で始まるが、2 小節目の直前で主調から見て関係調でいうところの ウ 調から借用 (短い転調) している。そのことを決定づけているのは エ のパートの オ 音である。3 小節目の後半で主調に戻るが、6 小節目で再び ウ 調に転調して、この楽節の最後にみたび主調に戻る。

この曲はイタリアの舞曲であるシチリアーノの様式で書かれており、この 8 分の 12 拍子は単純拍子で考えると カ 拍子にあたる。また一番下のパートは キ を担っており、添えられている数字は ク をどのように演奏するかを指示している。そしてこのパートは通常 2 人以上で演奏されることになり、このような数字が付されている音楽は ケ の特徴といえる。

1. イ 2. ロ 3. ハ 4. ニ 5. ホ 6. ヘ 7. ト 8. 変ロ 9. 嬰ヘ 10. 長 11. 短 12. 属 13. 下属 14. 平行
 15. 同主 16. 平行調の下属 17. 属調の平行 18. Violin solo 19. Violin I 20. Violin II 21. Viola
 22. Organo e Continuo 23. Fis 24. Dis 25. Cis 26. 1 27. 2 28. 3 29. 4 30. 6 31. 通奏低音
 32. フーガ 33. モチーフ 34. アゴーギク 35. シンコーペーション 36. 音律 37. 揺らぎ 38. 和音
 39. 対旋律 40. テンポ 41. アルス・スプティリオール 42. バロック時代 43. 古典派 44. スペクトル楽派
 45. 新古典主義 46. シェトゥルム・ウント・ドラング 47. 総音列主義 48. ルネサンス様式

2. **A**～**E** に示されている各和音の種類 (例: 長三和音、等) とその転回形 (基本形、第 1 転回形、等) を答えよ。
3. (1). **F** に用いられている音階の名称を答えよ。
 (2). (1) の音階の属音を導音とした短調の旋律短音階上下行形音階を、ト音譜表上に調号を用いて全音符で書け。
 (3). (1) の音階の上主音の異名同音を終止音としたリディア音階 (上行形) を、バス譜表上に全音符で書け。
4. **G** で囲まれた部分を 4 分の 12 拍子に変換して、長 2 度下に調号を用いずに臨時記号を用いて移調せよ。スラーは省略してよい。
5. (イ)～(ヌ) の音程を日本語で答えよ。ただし複音程は単音程に直して考えること。またそれぞれの異名同音程および転回音程を下枠の選択肢より選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を重複して使用してもよい。

- A. 短 2 度 B. 増 2 度 C. 減 3 度 D. 短 3 度 E. 長 3 度 F. 増 3 度 G. 減 4 度 H. 完全 4 度 I. 増 4 度
 J. 完全 5 度 K. 増 5 度 L. 減 6 度 M. 短 6 度 N. 長 6 度 O. 減 7 度 P. 短 7 度 Q. 減 8 度

6. **X** と **Y** の箇所に以下の意味の楽語を書き入れるとしたらどのように表記すればよいか。一般的な楽語 (イタリア語、あるいはその音楽記号) で答えよ。

X に「(音量を) 常に小さく」 **Y** に「弦を指で弾く奏法で」

7. アウフタクトを除いた全 8 小節をちょうど 60 秒で演奏するには、どのようなメトロノーム表記にすればよいか、八分音符の表記で答えよ。

(問題ここまで)

【譜例】

Aria

The score is divided into three systems, each with numbered measures and specific performance markings:

- System 1 (Measures 1-8):**
 - Violin solo: Measure 1 has an 'X' marking.
 - Violin I: Measure 1 has an 'X' marking; Measure 2 has a '(イ)' marking.
 - Violin II: Measure 1 has an 'X' marking.
 - Viola: Measure 1 has an 'X' marking.
 - Organo e Continuo: Measure 1 has a 'Y' marking. Measures 2, 4, 6, and 8 have fingerings: 6/4/2, 5, 8, and 6/4 respectively.
- System 2 (Measures 9-16):**
 - Violin solo: Measure 10 has a 'tr' marking.
 - Violin I: Measure 10 has a '(ハ)' marking.
 - Organo e Continuo: Measures 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, and 16 have fingerings: 6/4/2, 6/4/2, 8/5, 7/6/5, 6, 7, 6, and 6/4+/2 respectively.
- System 3 (Measures 17-24):**
 - Violin solo: Measure 17 has a '(ニ)' marking.
 - Violin I: Measure 17 has a '(ホ)' marking; Measure 20 has a '(ヘ)' marking.
 - Violin II: Measure 17 has a '(ト)' marking; Measure 20 has a '(チ)' marking; Measure 23 has a '(リ)' marking.
 - Organo e Continuo: Measures 17, 19, 21, and 23 have a '7' marking.

ソルフェージュ

I 聴音 4声体和声

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（主音のみを与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。
演奏終了後、1分間を与える。）

4声

A musical score for a 4-voice harmony exercise. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has three flats (B-flat, E-flat, A-flat), and the time signature is common time (C). The piece is 8 measures long. The notes are as follows:

Measure	Treble Clef	Bass Clef
1	G4, Bb4, D5	F3, Ab3, C4
2	A4, Bb4, D5	G3, Ab3, C4
3	Bb4, D5, F5	A3, Bb3, D4
4	C5, D5, F5	Bb3, C4, E4
5	D5, F5, Ab5	C4, D4, F4
6	E5, F5, Ab5	D4, E4, G4
7	F5, Ab5, C6	E4, F4, Ab4
8	G5, Ab5, C6	F4, G4, Bb4

作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（主音のみを与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。
演奏終了後、1分間を与える。）

4声

A musical score for a 4-voice harmony exercise. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has two sharps (F-sharp, C-sharp), and the time signature is common time (C). The piece is 8 measures long. The notes are as follows:

Measure	Treble Clef	Bass Clef
1	F#4, A4, C5	D3, F#3, A3
2	G#4, A4, C5	E3, F#3, A3
3	A4, B4, C5	F#3, G#3, B3
4	B4, C5, E5	A3, B3, D4
5	C5, E5, G#5	B3, C4, E4
6	D5, E5, G#5	C4, D4, F#4
7	E5, G#5, B5	D4, E4, G#4
8	F#5, G#5, B5	E4, F#4, A4

II 聴音（旋律）

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（主音及び、主和音を与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏1回の後、4小節毎に4回の演奏を行なう。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後、1分間を与える。）

旋律



作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（主音及び、主和音を与える。テンポの指示は無し、20秒間隔で、通奏1回の後、4小節毎に4回の演奏を行なう。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後、1分間を与える。）

旋律



Ⅲ 聴音（2声）

作曲専攻（作曲）受験生のみ課す。

（主音及び主和音を与える。テンポの指定は無し、20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後、1分間を与える。）

2声

The image displays two staves of musical notation for a two-voice exercise. The key signature is A major (two sharps: F# and C#) and the time signature is 6/8. The first staff contains a melodic line with eighth and quarter notes, and the second staff contains a bass line with eighth and quarter notes. The piece concludes with a double bar line.

IV 新曲視唱

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。）

Andante

A

Andante

B

作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。）

A

Andante

mp *cresc.* 3

mf *mp*

rit. ----- a tempo

p *mf*

f

B

Andante

mp *cresc.* 3

mf *mp*

rit. ----- a tempo

mf *mf*

f

愛知県立芸術大学
学務課

愛知県長久手市岩作^{岩さきがみ}三ヶ峯1の114

(郵便番号 480-1194)

電話 (0561) 76-2603 (入試・広報係直通)